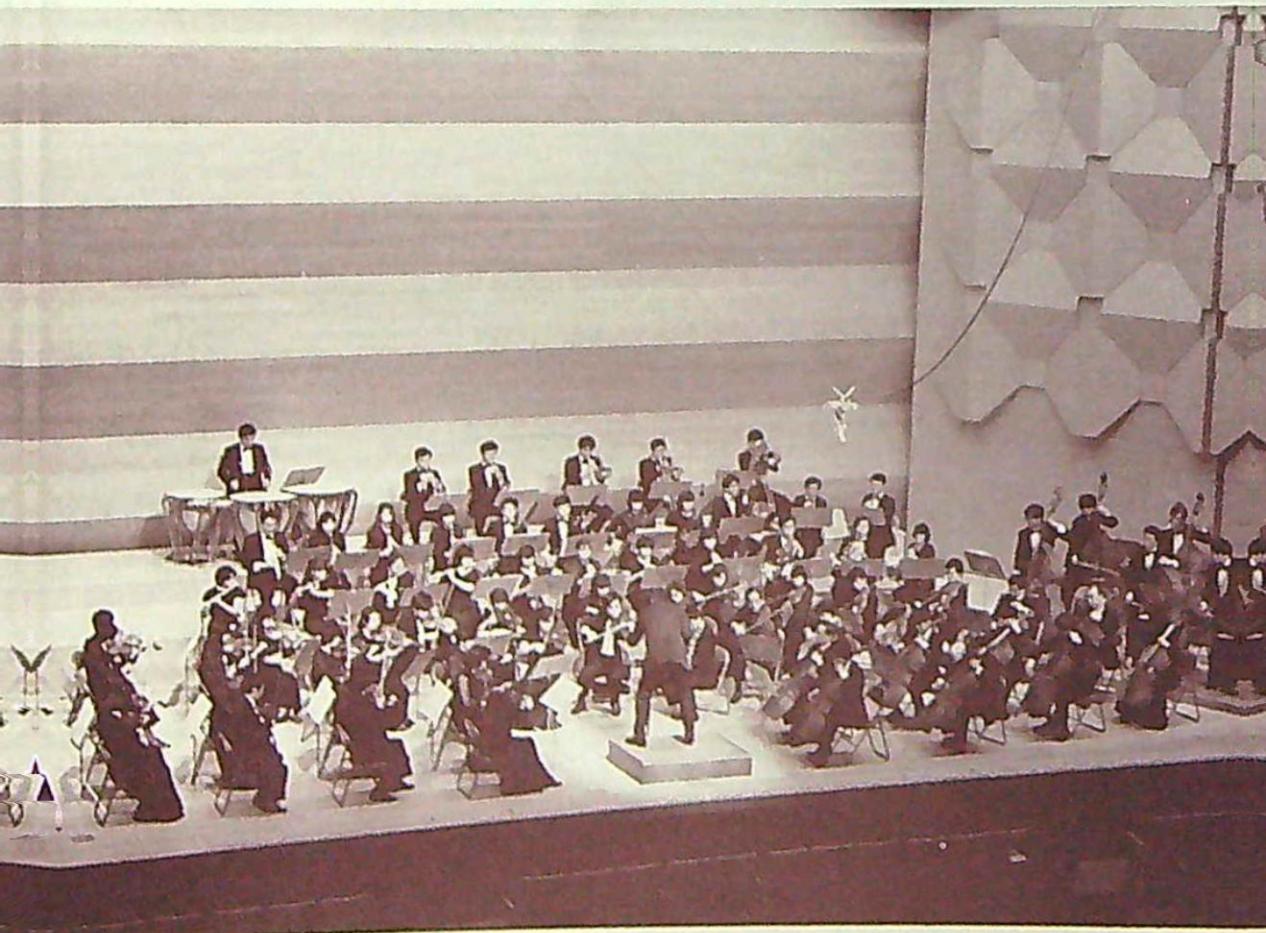
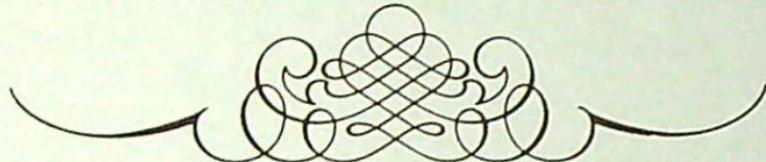




1989 ROTARY CONCERT

倉敷管弦楽団

特別演奏会



* 4月23日(日) 坂出市民ホール

■主催 坂出ロータリークラブ
坂出東ロータリークラブ

■後援 香川県教育委員会
坂出市PTA連絡協議会

■マネジメント 岡山コンサート協会

主催者からのメッセージ

ロータリーコンサートによくお越し下さいました。坂出ロータリークラブ、坂出東ロータリークラブは青少年の健全育成の一助となるように各種の行事を主催して参りましたが、その一つのロータリーコンサートも今年で4回目を迎えました。今回は、坂出身で現在スイ士で活躍の新進気鋭のソプラノ歌手 小濱妙美様をソリストとし、オーケストラには瀬戸大橋で堅く結ばれた倉敷市より倉敷管弦楽団をお迎え致しました。どうぞ皆様美しい音楽の調べをお楽しみ下さい。

尚、今回の演奏会の開催に御協力をいただいた岡山コンサート協会様、また御後援をいただきました坂出市教育委員会、坂出市PTA連絡協議会の皆様に感謝致します。

坂出ロータリークラブ
会長 吉原正平
坂出東ロータリークラブ
会長 蔦下良夫

オーケストラからのメッセージ

この度、坂出ロータリークラブ、坂出東ロータリークラブの皆様方の御好意により、楽団創立以来はじめて岡山県外で演奏会を開かせて頂くことになりました。

瀬戸大橋をはさんでの中四国交流の点からも非常に意義深い催しと思います。我々一同、皆様方の御期待にこたえるべく一生懸命練習して来ましたので、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。これを機会に今後ともどうかよろしくお願い致します。

倉敷管弦楽団

団長 田辺幹夫

プログラム

1. オペラ「ナブッコ」序曲 ベルディ
2. オペラ アリアの名曲から プッチーニ
「蝶々夫人」より ある晴れた日に、かわいい坊や
「ラ・ボエーム」より 私の名は、ミミ 告別の歌
「トゥーランドット」より 氷のように閉ざされた姫君の心も
「トスカ」より 歌に生き、恋に生き
3. 交響曲第4番木短調Op98 ブラームス

曲目解説

オペラ「ナブッコ」序曲

ヴェルディは最も有名なオペラ作曲家の1人で、全部で26のオペラを書きました。「椿姫」「アイーダ」などが代表的な作品ですが、「ナブッコ」もその内の1つです。

序曲はオペラの幕が上がる前に暗い会場で演奏される曲ですが、これだけで立派な名曲として独立して演奏される曲が沢山あります。ナブッコ序曲もその内の1つで、ゆっくりした序奏から緊迫したアレグロに入り、次に美しい旋律を経て再びアレグロに入り、最後は燃え上るように終ります。

解説 田辺幹夫

オペラ アリアの名曲から 「蝶々夫人」より ある晴れた日に

第2幕で、いまだに帰ってこないアメリカ海軍士官ピンカートンを待っている蝶々さんが、侍女の鈴木に「あの人はきっと帰つてくるわだから心配しないでね、私はあの人に信じてまつわ」と言い聞かせながら歌う名高いアリアです。ピンカートンの帰る日を夢見るようになら「ある晴れた日に…」と歌いだし、やがて感情の高まりと共に曲も高潮して行きます。

「蝶々夫人」より かわいい坊や

死を覚悟した蝶々さんによって歌われる劇的なアリアです。愛する子供をピンカートンとその妻にゆだねて、自ら死んで身を引こうとする母の思いを愛児に切々と訴えかけます。このアリアを聞いて涙しない人はいないでしょう。

「ラ・ボエーム」より 私の名はミミ

詩人口ドルフォとお針子娘ミミの恋の物語のオペラ「ラ・ボエーム」の第1幕でミミが身の上話をする時に歌われるアリアです。貧しいお針子娘として控え目に毎日を送っているミミに相応しく、少々遠慮がちに歌い出されますが、シンコペーションのリズムがその言葉の一つ一つを意味深くしています。

「ラ・ボエーム」より 告別の歌

第3幕、雪の積もった寒い朝、ダンフェール門の前で歌われるアリアです。愛しているがらも、口ドルフォに迷惑をかけるのがしのびなく、別れていこうとするミミの愛情ある告別の苦しさが切々と伝わってきます。弱音器付きのヴァイオリンによって演奏される高音はいかにも悲しげであります。曲はミミの高いBの音でクライマックスを迎えます。

「トゥーランドット」より 氷のように閉ざされた姫君の心も

トゥーランドットの美しさに心を奪われた王子カラフは、人々のとめるのも聞かず死を覚悟してトゥーランドットに求婚します。奴隸の身でありながらカラフを慕っているリューはカラフにその危険な求婚を思い止どまらせようとしていますがカラフは聞きません。拷問を受けたリューが死を覚悟して歌うアリアです。

「トスカ」より 歌に生き、恋に生き

この有名なアリアは第2幕で、トスカが彼女に横恋慕するスカルピアによって苦しい立場にたたされて歌うものです。

解説 小濱妙美

ブラームス：交響曲第4番

ブラームスは交響曲を全部で4曲書きましたが、これはその最後の曲です。その時彼はすでに50才を過ぎていましたが、まだ独身で、ただ1人で年をとっていくさびしさ、過去の追憶、人生の後半にさしかかった情感がじみ出ており、それに故郷の北ドイツのきびしい自然が織りませられています。

第1楽章は、うれいを含んだ第1主題ではじまり、しばらくしてやや明るい第2主題を経て進行します。第2楽章はホルンの先導による古い教会音階ではじまり、淡彩の冬景色を見るような感じです。第3楽章は一転して明るいにぎやかな音楽になります。最後の第4楽章は最初の8小節のテーマが繰返し繰返し36回も出て来て、その度に色とりどりの変奏が施されており、ブラームスの最高度の作曲技法を示しています。

解説 田辺幹夫

出演者の紹介

★独唱者 小濱妙美 Taemi KOHAMA

坂出市出身 坂出高等学校音楽科卒 東京芸術大学大学院ソロ科終了。畠中良輔、小野光子、中村義春、斎藤伶子各氏に師事。1983年シュワルツコップ女史のマイスター・クラスでその才能を認められ、1984年、東京芸術大学大学院終了と同時に西ドイツに留学。シュワルツコップ女史に師事。同年8月ザルツブルクのモーツアルテウム夏期講座受講後、選ばれて終了コンサート及び最優秀者コンサートに出演する。1984年10月よりスイス政府給費生として、チューリッヒ在住、シュワルツコップ女史に師事。又、チューリッヒ音楽大学においてヨーゼフ・マイヤー、ピーター・ラスキー、アービン・ケージュに学ぶ。1986年、ブラハの春コンクール声楽部門ティプロマ、チャイコフスキーコンクールティプロマ、日本音楽コンクール入選、フランシスコ・ヴィニヤスコンクール入選。1987年7月西ドイツのシュレースヴィヒ・ホル斯坦国立歌劇場にて蝶々夫人、トスカなどを歌う。1988年秋にはバヴァロッティコンクールのフィナリストとしてニューヨーク、フィラデルフィアに招待される。現在スイスを拠点にヨーロッパ、アメリカ、日本で幅広く活躍中。

★指揮者 星出豊 Yutaka HOSHIDE

1969年渡独、ニュルンベルク歌劇場の副指揮者を努めながら研鑽を積み、1970年、ベートーベン生誕200年記念祭での演奏が好評を得たのをはじめ、西独、スイスで演奏活動を行う。

以後、新星日本交響楽団、藤原歌劇団、日本オペラ協会を中心に活動を続け、1983年には、カトリック聖年の年にあたりヴァチカン国で制作されたオペラ「ダヴィテ王」を世界初演しその実力を認められ、数多くの曲が、ラディオ・ヴァチカンより全ヨーロッパに放送された。とくにチャイコフスキーオ「オルレアンの少女」とドヴォルザークの「レクイエム」は各曲3回のアンコール放送が行われ絶賛を得た。

オペラでは藤原歌劇団により「イル・カンピエッロ」「マハゴニー市の興亡」「妖精ヴィツリ」の日本初演、日本オペラ協会では新作初演を含む多くの作品を手がけ、芸術祭文部大臣賞及び芸術祭放送賞を得ている。

他団体への出演も多く西洋の作品から日本の作品までレパートリーは広く、コンサート及びオペラの指揮者として不同的な地位を築いている。

マンフレッド・グリント、ハンスレーブライン、ハンス・ギルスター諸氏に師事。現在 新星日本交響楽団正指揮者、藤原歌劇団、日本オペラ協会指揮者、昭和音楽大学助教授。

倉敷管弦楽団

「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に、昭和49年に設立された倉敷管弦楽団は、文化都市倉敷にふさわしい若さと熱気に満ちた楽団で、バロックから現代曲までの幅広いレパートリーとし精力的に演奏活動を行っている。

毎年1回の定期演奏会のほかに岡山県内で活躍中の音楽家達との共演、日頃オーケストラを聞く機会の少ない地域への演奏旅行等を行なっている。

昨年春の瀬戸大橋開通に際しては、これを記念して小六禮二郎氏作曲の交響詩「瀬戸内賛歌」を初演した。平成元年、瀬戸大橋開通1周年にあたり、橋の両端の坂出・倉敷両市の文化交流として初めて県外での演奏会を坂出で開催することになった。

昭和57年には、岡山県文化功労賞、昭和60年には倉敷文化連盟賞を受賞し、将来を大きく期待されている。

ロータリーとは

今から84年前の1905年、その頃経済恐慌で人心の荒れすんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた、青年弁護士ボールP.ハリスが、3人の友人と語らって2月23日、第1回の会合をひらいたのが、ロータリークラブの誕生であります。ロータリーとは、会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所でひらいたことから名付けられました。このクラブは着実に成長し、現在160の国家および地域にひろめられ、クラブ数23,906会員数1,062,058人に達し、さらに大きな発展を期待されています。

わが国のロータリーカラブは1920年(大正9年)10月20日、当時三井銀行の重役であつた米山梅吉氏が、初めて東京にこれを創立し、翌10年4月1日、世界で855番目のクラブとして加盟承認されました。その後第二次世界大戦のため、一時国際ロータリーから脱退するのをやむなきに至ったこともありましたが、戦後国際ロータリーに復帰するや、益々発展。現在では北は北海道、南は沖縄まで、クラブ数1,821会員数107,897人に達し、なおすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力をつづけています。会員は地域内の理想にもえる堅実な実業家、専門職業人の中から定款により、1業種1人を選び、週1回のクラブ例会出席によって、各種職域人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはがっています。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

協賛団体

アガワ呉服店	綾実業	家常整形外科医院	石垣機工
うつぼや	香川テレビ放送網	鎌田醤油	カヤノドレス
クスイシャツ	久保眼科医院	高照院天皇寺	国分寺
五栄海陸興業	五色台病院	坂井印刷	坂出国際ホテル
坂出土建	坂出臨港倉庫	坂出郵船組	四国工業写真
四国精機	四国ダンボール	シーサイドゴルフ場	サカエ設計事務所
四国電力	四国銀行	しんすい園	白峰寺
ステキハウス千萬	ジーパード四国	太陽堂	高尾外科病院
武部歯科医院	タタラ時計店	多田羅陶器店	立石商事
塙田木材	津島外科医院	帝國被服	東亜工業所
東洋物産	日本制がん研究所	中村土木	浜崎産業
浜崎木材	原電機商会	林田塩産	平田吉俊商店
114銀行	ホテルニューセンチ	松尾産婦人科医院	松山漁業協同組合
峰役次郎商店	都屋	蔽下石材	横井石油
横山税理士事務所	吉原食糧工業所		(50音順)